

月 日 時刻	7月日(土)14:05			8月17日(土)14:20			9月21日(土)14:25			10月19日(土)14:15			11月19日(火)14:50			12月21日(土)14:00																	
場所	A			A			A			A			A			A																	
気温				35.2			26			20.8			20.4			10.0																	
水温				25.0			19.0			17.9			17.8			15.2																	
PH				7.0			250			7.1			360			6.7			320			6.9			310			6.8			310		
1 ヨコエビ			○			○			○			○			○			○			○			○			○			○			
2 ミズムシ(ダンゴムシ型)									○			○			○			○			○			○			○			○			
3 ミズムシ(ボート型)																																	
4 サホコカゲロウ			○			○			○																								
5 カクツツトビゲラ			○			○						○																					
6 ユスリカ			○			○																											
7 ガガンボ						◎																											
8 アメンボ																																	
9 プラナリア			○			○			○			○			○			○			○			○			○			○			
10 ミミズ																																	
11 イトミミズ																																	
12 ミジンコ																																	
13 クロゲンゴロウ																																	
14 ハイイロゲンゴロウ																																	
15 ガムシ																																	
16 ヤゴ(シオカラ等)																																	
17 カワニナ			◎			◎			○			○			◎			◎			○			◎			○			◎			
18 マルタニシ																																	
19 シジミ									○																								
20 サカマキガイ																																	
21 ドジョウ																																	
22 クロメダカ																																	
24 ヌマエビ			◎			◎			◎			◎			◎			◎			◎			◎			◎			◎			
25 スジエビ																																	
26 ザリガニ			○																														
27 サワガニ			○						○			○			○			○			○			○			○			○			
28 オタマジャクシ																																	
29 カワモズク																																	
30 アオミドロ			○			○																											
31 サヤミドロ																																	
32 その他																																	
備考	U字溝の水漏れ工事が完了し、多量の水が流れている。工事によって元々サワガニの棲家になっていたコンクリート壁の割れ目も塞がれてしまったが、サワガニは水路の水草にしっかりと寄り付いていた。			水量が豊かな中、沢山のヌマエビが棲息している。境川水系全体に広がっているようである。残念ながらサワガニは観察できなかった。水路に窪みもなく水流も強くて棲みにくいのではないか、			子持ちのサワガニが見つかった。これからもここで生き続けるであろう。水路の補修で身を隠す場所が無くなってしまったが、しっかりと生き続けている。感激。			サワガニの幼体が2匹捕獲できた。先月捕獲した卵を持った親ガニの子供であろうか。無事育っているようでうれしい。ニンギョウトビゲラが初めて捕獲できた。すでに10年以上続けているのに。			稲の収穫が終わり、水路の流量も少なくなった。ヌマエビの多さに驚かされる。水路の壁についているコケ類をエサとしているのであろう。これだけ密度が高いと、周りの生物に影響を与えていることであろう。			水門は開けられているので相沢川からの水は届いておらず、湧水だけで10センチほどの水位を保っている。久しぶりにマメシジミが4個体観察されたが、サワガニは見出せなかった。ヌマエビは小体長のものが多かった																	